

## お知らせ

去る六月六日の評議員会において、任期満了にともなう次期理事の選任が行われ、左に記しましたように六名の理事が選任されました。これまでの理事五名は重任、新しく杉山きく子が理事に加わりました。理事長の松岡享子は、本人の希望を入れて、今期の任期満了をもっての退任が認められましたので、ご報告申し上げます。

理事選任後、ただちに臨時理事会が開かれ、互選の結果、代表理事に張替恵子、小関知子が選ばれ、張替恵子の理事長、小関知子の常務理事就任が決まりました。合わせて、前理事長の松岡享子に終身名誉理事長の称号を贈ることを全会一致で決定しました。

設立時に理事長に就任し、その後四十余年にわたって理事長の任にあった松岡の退任は、東京子ども図書館にとつて、小さくない出来事ですが、評議員、役員、職員一同、力を合わせて、館の運営と、事業の継続・発展にいつそう努めてまいりますので、これまで同様、変わることなくご支援くださいますようお願い申し上げます。

二〇一五年七月

公益財団法人東京子ども図書館

### 評議員

荒井督子（評議員会会長）

荒井優

石田房枝

加藤哲夫

小林いづみ

島多代

鈴木由香里

高橋伸一郎

田島伸二

### 理事

張替恵子（理事長）

小関知子（常務理事）

川上賢一

杉山きく子（新任）

高橋美知子

渡部伸子

### 監事

佐藤英和

馬場健男

### 名誉理事長

松岡享子

## ご挨拶

みなさまには突然のことで驚かれたかと思いますが、このたび、評議員、役員、職員のみなさまの理解ある決断により、今期の任期満了をもって、理事長職を退任することになりました。自分たちの思惑や都合より、わたしの気持ちを優先して、ここ数年ひそかに抱きつづけてきたわたしの願いを、すなおに聞き入れてくださった関係者のみなさまに心より感謝しております。

とはいえ、実際には、館とのかかわりは、これまでとそう変わるとは思いません。定期的にはなくなるかもしれませんが、館には出勤いたしますし、お話の講習会をはじめ、館の催す講習会の講師もつとめます。「こどもとしゃかん」への寄稿も、これまで同様つづけると思いますが、健康のゆるす限り、地方の講習会への出張もいたします。ただ、時間的、気分的に少しは余裕をもつことができる分、書く仕事にこれまでより多くの時間を割くように思っています。

八十歳を迎え、残された時間をどのように用いるかを考えたとき、若い、意欲と能力のある職員たちがぐんぐん力をつけて伸びていつている今、つぎにバトンをわたすのが最善と判断しました。変化の多い、むつかしい時代にさしかかっていることは誰しも感じているところですが、本のたのしみと、本が与えてくれる力を体験した人たちが、新しい状況の中で、自分たちの体験の意味を深く掘り下げ、時代に合う活動を展開してくれることを信じています。

みなさまには、長年にわたる物心両面でのお力添えに、改めて深く感謝申し上げます。そして、今後も、どうぞこれまでにまして、館の活動に関心を持ち、ご支援くださいますように、心からお願ひ申し上げます。

松岡享子

このたび、理事長という重責を引き継ぐことになりました。

公共図書館で十数年の経験を積んだのち、東京子ども図書館に移って二十年余り、子どもための理想の図書館を実践するために、ただ夢中で働いてまいりました。全国の図書館現場で児童サービスに携わりたいと願いながらも、それが叶わない方たちが大勢いらっしゃるなか、このように仕事に専念してこられたのは本当に幸せなことです。

松岡名管理理事長は、四十一年もの長きにわたって財団の管理運営のために心を砕き、わたくしたち職員が子どもと本のよろこびを分かち合うことのできる環境を整えてくれました。二〇一〇年に公益財団法人の認定を受けてからは、煩雑な事務をできるかぎり事務局で担い、負担を軽減するように努めてまいりましたが、組織の長としての重荷は見えない形でその肩にかかっていたことと思います。本人からの引退の希望が表明されたとき、それを快く受け入れ、今後の責任を担うことこそ、これまでの幸せな児童図書館員生活へのご恩返しであると思ひ至りました。

松岡が身をもって示してくれた、子どもと本に対する信頼、そしてこのふたつをむすぶ仕事のたのしみ、豊かさを次の世代へつないでいくために、しっかりとバトンを受け取り、同様の覚悟でいる職員たちと心を合わせて、みなさまのご期待に添えるよう力を注いでまいります。松岡名管理理事長には、今までよりも自由な立場で、館を見守りつつ、創造的な仕事にも心置きなく取り組んでもらいたいと願っています。

みなさま、どうぞ引き続き、新しい体制での当館の活動にお心を寄せ、末永くご支援くださいますようお願い申し上げます。

張替恵子